



SSHレターズ

長崎県立大村高等学校
～自ら気づき、考え、行動する～

1巻/28号 2020/9/30

◆大学セミナー（普通科・家政科2年）

9月16日（水）、4大学から11名の講師をお招きし、大学セミナーを行いました。今回、一部はオンラインでのリモート講座で実施をしました。生徒たちは、大学の先生方から直接話を聞くことができ、大学での学びについてより理解を深めたようです。

	講座	所属	講師名
1	栄養	活水女子大学食生活健康学科	松永 知恵 氏
2	教育	活水女子大学子ども学科	石川由香里 氏
3	教育	長崎純心大学こども教育保健学科	田中 珠美 氏
4	看護	長崎県立大学看護学科	堂下 陽子 氏
5	情報	長崎県立大学情報セキュリティ学科	山口 文彦 氏
6	情報	長崎県立大学情報システム学科	藤沢 望 氏
7	地域創造	長崎県立大学公共政策学科	西岡 誠治 氏
8	経済	長崎大学経済学部	穴倉 学 氏
9	理学療法	長崎大学医学部保健学科	田中 貴子 氏
10	工学	長崎大学工学部	永井 弘人 氏
11	国際	長崎大学多文化社会学部	小松 悟 氏



講義のようす



リモートで指導を受けながらの演習

◆水質調査（数理探究科1年）

9月17日（木）、長崎大学の飯間雅文先生をお招きして、大村高校敷地内を流れる玖島川やビオトープの水質調査を行いました。自然環境の水質調査を通して、郷土大村の現状を理解することや、科学的考え方・判断力を身につけることを目的に実施しました。

学校敷地内や近隣を流れる玖島川の水を採取した後、学校に持ち帰り、班に分かれてさまざまな項目の水質調査を実施できました。生徒はサンプルの採集や水質調査の実験を行い、実験結果の分析における情報の整理と多角的な視点の重要性などを学びました。



◆長崎県立大学連携事業・理科実験 （数理探究科2年）

9月16日（水）、長崎県立大学（シーボルト校）にて連携事業理科実験を行いました。大学レベルの実習・実験を体験することで、実験スキルの向上と科学的興味・関心を高め進路選択の幅を広げることを目的に実施しました。

13:00～17:00の4時間の実習・実験でした。テーマは、
「ラットの解剖と臓器からのDNAの抽出」
「発酵食品の醸造に關与する微生物の観察」
の2本で、2グループに分かれての実施でした。



「ラットの解剖」



「微生物の観察」

◆科学プレゼン講座（数理探究科2年）

9月18日（金）、長崎大学大学院より菅向志郎教授をお招きし、科学プレゼン講座を行いました。科学プレゼンの基本から、ポスター作成・口頭発表における留意点まで、実例をわかりやすく講義していただきました。現在探究活動真っ最中の1・2年生に役立つポイントを、今回の講義の中から一部紹介します。



《スライド・ポスター作成6箇条》

- ①1項目1フレーズで輝く構成
- ②項目に詰め込み厳禁
- ③見せたい所、流れに図形
- ④文章よりも目視の容易さ
- ⑤キーフレーズは繰り返しOK
- ⑥プレゼンは苦勞話にあらず

《口頭発表6箇条》

- ①聞き手にお尻を向けない
- ②指し示す
- ③話し言葉で
- ④ゆっくりと・はっきりと
- ⑤実践練習（原稿を覚える）
- ⑥面白さ・楽しさを伝えて共有する